

# 合併特例区協議会のとりくみ

新年あけましておめでとうございます。 富合町合併特例区 区長 村 崎 秀

富合町におきましては、熊本市の政令指定都市移行にともない区役所の設置が決まり、加えて新幹線総合車両基地も完成し、これに関連しました受託事業の進展や町の新しい玄関口となるJR富合新駅も本年3月12日に開業する等、着実に発展しているところでございます。

ふるさと祭りや健康祭・産業祭、町民体育大会などを通して富合町の伝統や文化を守りつつ、活力に満ちた富合町のさらなる発展に寄与したいと考えております。

特例区長として、今後も郷土のために町民の皆さまや特例区協議会構成員の皆さまと手を携え、住民の皆さまから合併特例区があって本当によかった、と思われるよう全力を尽くして参る所存でございます。今後とも更なるご理解とご協力をお願いいたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。

明けましておめでとうございます。 富合町合併特例区協議会 会長 田 中 栄 信

富合町合併特例区協議会を代表しまして謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。我々、構成員一同、富合町の発展のため、住民の皆さまとの交流を深め、ご意見等をお聞きし、お知恵をお借りしながら地域振興並びに文化・伝統の継承を計り、将来のまちづくりに全力を尽くして参る所存でございますので、町民の皆さまにおかれましては、今後ともご指導ご鞭撻のほどをよろしくお願い申し上げます。

新しい年が、活力にあふれ、町民の皆様の笑顔が輝く、希望に満ちあふれた一年になりますよう心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

小山一美、米原靖雄、野口ミナ子、村崎博則、改原明博、松永隆、内藤信博、菊池博志

平成22年度 第9回 富合町合併特例区協議会 開催日:12月22日(水) 場所:富合総合支所 大会議室

協議 1. 平成 23 年度富合町合併特例区一般会計当初予算概算要求(案)について  
平成 22 年 12 月現在の概算要求について説明を受け、協議し同意しました。減額分は九州新幹線総合車両基地に関する事務事業関係が主なものです。

	平成 22 年度当初予算額	平成 23 年度当初予算要求額	対前年比較
収入の部	168,865,000	93,754,000	△ 75,111,000
支出の部	168,865,000	93,754,000	△ 75,111,000

詳しい内容については予算が決定した段階で報告します。

報告 1. 富合町老人憩いの家改修等工事について  
平成 23 年 4 月 1 日使用開始に向けて、改修が昨年 12 月に開始されました。改修期間中は使用が中止されます。改修期間は平成 22 年 12 月 25 日から平成 23 年 3 月末までを予定。改修期間中の問い合わせや使用開始後の予約などについては下記で受け付けます。

**熊本市社会福祉協議会富合支所 電話 357-2939 老人憩いの家の電話は不通になります。**

※龍燈苑(宇城広域連合)は平成 23 年 4 月より区域外となります。12 月の各市議会で協議されています。詳細については広報紙 2 月号でお知らせします。

## 協議会部会 3年目の活動目標

**地域振興部会** 部会長 松永 隆  
特例区の残された期間 3 年間は、富合町にとって重要な期間です。熊本市が政令指定都市に移行を予定している 2012 年 4 月には区域区分(市街化調整区域・市街化区域の線引き)が定められます。それに伴う県条例による集落内開発もあわせて、富合町の住民一人一人の理解が大切です。部会活動として一番は「都市計画」問題です。今後、都市計画課の説明を受け、合併特例区協議会、地域振興部会で協議し、早い段階で、各地区での説明を要望し実現していきます。

**広報部会** 部会長 野口ミナ子  
毎月 1 回の広報紙発行と今後のまちづくりの問題点を取材を通して把握していきます。